

家庭教育学級新聞

令和5年度第6号
2024.2.29発行
№52 教育委員会子ども教育課

今年度も残り少なくなりました。園や学校ではまよめの時期です。卒園・卒業の時期でもあります。お子様の成長がまぶしく感じられるのではないのでしょうか。春が待ち遠しいですね。家庭教育学級新聞も最終号です。ご愛読いただき、ありがとうございました。

教育講演会 成東小学校 1月26日(金)



講師：有吉優樹 氏 元ロッテマリーンズ 投手



4年生～6年生の児童と保護者対象の講演会でした。有吉選手がどうやってプロになったのか、小学生の時からのお話でした。人一倍努力したことの根底には、「野球が好き」という思いが常にあったそうです。お話の後、児童からも保護者からもたくさんの質問がでました。

保護者と地域の方のふれ合い活動「昔の遊び」 大富小学校1月26日(金)



講師：大富地区社会福祉協議会、推進委員の方々

1・2年生の児童と保護者が社会福祉協議会の方々と一緒に、羽根つき、お手玉、独楽回し、竹とんぼ、めんこ遊びなどをやりました。独楽回しはちょっと難しそうでした。竹とんぼはステージの上からよく飛んでいました。



3B体操 緑海小学校 2月2日(金)



日本3B体操協会 橋川えみ香 氏



3B体操とは、ボール・ベル・ベルターを使って行う体操です。1・2年生の児童とその保護者を対象に行われました。今回は、ベルターとベルを使った運動で保護者も子どもと一緒に走ったり寝転んだり結構ハードな運動でした。普段使っていない筋肉を使ったので翌日は、筋肉通だったかもしれませんね。

親子で作ろう なるとうこども園 2月9日(金)



講師：バルサミコヤス 氏



親子でフォトフレームを作りました。フレームの周りにはレースやビーズ、かわいらしい絵など思い思いのデコレーションをしました。卒園式には写真を飾るそうです。楽しみですね。



大人CAP 日向幼稚園 1月12日(金) なんごうこども園 1月30日(火)

アンケートでは、「参加して良かった」「子どもへの声掛けを変えてみたい」「子どもの話をしっかり聞くようにしたい」などの感想が多かったです。今後もふるってご参加ください。

日向幼稚園



なんごうこども園



子育てについて

今回は、山武北小の宮野教頭先生に子育てについての原稿を寄稿していただきました。

山武北小学校 教頭 宮野 勝典

現在、いろいろな考え方が認められる多様の社会、かつての「普通」は、もしかしたら今では「普通」ではないかもしれません。自分自身が「こうであるべき」と思うことも、他の人にとっては「そうでなくてもよい」ことが多くなってきているように感じます。



<環境の変化>

子育てを取り巻く環境についても、同じようなことが多くなってきているように感じます。私自身が子どもの頃は、悪いことをすれば当たり前のように近所のおじさんに怒られました。テレビはリビングに1台しかなかったので兄弟間のチャンネル争いは日常茶飯事でした。お店は夜には閉まり、定休日もきっちりあって、いつでも必要な物を買えるようなことはありませんでした。何か情報を得たいとき、テレビや雑誌、広告や新聞、辞書や教科書、あらゆる情報源を活用して知りたいことを調べました。このほかにも、挙げればきりがありません。



<「子は親の鏡、親は子の鑑」>

時代は流れ、ここに挙げたようなことは、今では考えられません。かつての「普通」が今では「普通」ではなく、「こうであるべき」だったことが「そうでなくてもよい」になっているかもしれません。多くの情報が手に入れることができ、様々な考え方が認められる現在において、正しい子育て、こうであるべき子育てを探すのは難しいと感じます。そのような中で、私自身（あくまで私個人の意見です）がいつの時代でも不変的なことであると考えるのが「子は親の鏡、

親は子の鑑」です。親がルール違反をすれば、子もルール違反をします。親がマナーを守れなければ、子もマナーを守れません。親が他人を批判してばかりしていれば、子も他人を批判ばかりします。いかに時代が移り変わろうとも、親と子の関係は変わらず、親の言動は子に受け継がれ、さらに言えば孫に伝わっていきます。もちろん、全てがそうとは限りませんが、それでも子どもが生まれて初めて接するのが親で、お手本とするのが親ですので、子が親の影響を受けることは必然だと考えます。



<親の責任>

ご存じだと思いますが、法律にも親と子について様々あります。民法第820条には「親権を行う者は、子の利益のために子の監護及び教育をする権利を有し、義務を負う。」とあります。また、教育基本法第10条には「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。」とあります。他にもいろいろとありますが、どの法律も「親が責任をもって子育てしよう」と言っているのだと思います。多様性の時代であっても、親の責任はやはり変わってはいけないのだと私は思います。



<これからの子育て>

とは言っても親も人間です。完璧ではありません。間違えることもうまくいかないことも多いでしょう。今では昔とは違って、親が子育てに困ったり、悩んだりしたとき、それを助けてくれる機関がたくさんあります。困ったときはたくさんの人達に助けをもらいながら、よりよい子育てをしていきたいものです。

